

平成 28 年度 第 5 回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成 28 年 12 月 6 日（火）

10 時 00 分～16 時 30 分

場所：三重県松阪庁舎 3 階 33 会議室

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 議 事

笹笛川水系の流域概要について説明をし、次のような意見をいただいた。

- 既往洪水をみると、平成 15 年頃までは頻繁に水害が発生していたが、その後発生していない理由はどう捉えているのか。
- 現況流下能力が年超過確率 1/5 程度であれば、治水に関しては目標を達成しているという結論もあるのか。それも含めて治水の課題、整備の必要性を明確にしてほしい。
- 国指定天然記念物の「斎宮のハナショウブ群落」は、「ハナショウブ」という表記では園芸種と混合してしまう。原種であることを明確にするため「ノハナショウブ」の群落であることがわかるような表現としてほしい。
- 近くを流れる大堀川では、河川改修後に水生生物相が貧弱になってしまっている。笹笛川は色々な魚類がいるので、生態系に配慮してほしい。
- 現地調査結果として重要種をあげているが、重要種以外の種のリストも、将来的な河川管理の中で必要となるので、記録を残しておく方がよい。
- 斎宮の史跡や天然記念物等、多くの文化財がある地域であることを考慮してほしい。

奥川水系の流域概要について説明をし、次のような意見をいただいた。

- 流域の植生図に、造成地となっている箇所があるが、具体的にどのような状況となっているのか。
- 奥川が位置する錦地区は、神武天皇の東征伝承のルートとされる 3 つの地域の中の 1 つと言われている。地域の歴史においては、学術的に非常に重要な事項であると思うので、紀勢町史等を参考にし記載してもらいたい。
- 昭和 49 年洪水（台風 8 号及び豪雨）の最大時間雨量が 6.0 (mm/h) とあるが本当か。浸水被害の要因が降雨以外にあるのなら、その旨注意書きが必要ではないか。
- 計画規模と整備状況はどのようになっているのか。また現況の流下能力はどうなっているのか？
- 過去に大きな出水はあったが、近年被害が発生していないのであれば河道整備は必要ないのではないか。

- 現在、整備されているパラペットの整備目的は何か。L1 津波に対応しているのか。
- 神武台は避難施設に位置付けられているのか。
- 河道改修に係る配慮事項として、生物の保全・保護の基本方針について記載していただきたい。

4. 閉 会